

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



2014/10/12

▲ 透視度70%です。
下流から上流へ、透視度が下がります。透視度が高いほど、水がきれいであることを示しています。透視度は、水の透明度を測定するための指標です。透視度が低いほど、水中に多くの懸濁物質や有機物が含まれていることを示しています。透視度を向上させるためには、水質汚染の防止や、河川環境の整備が必要です。



2014/10/12

▲ 透視度70%です。



2014/10/12

平成26年10月12日(日)晴
台風19号がどよめき、曇りをとる。心配であったが、中学生仲間の手伝いもあって、状況調査は終了した。8月の改修工事が終了したため、川の状況はどうか、透視度、COD、BODを調査しました。透視度は65cmと20cm位、状態は良かった。CODも4位、よい状態です。魚類もカサガエを含まず、水生昆虫類はまだ無理です。一冊は経過を待たないと魚の種類が判らないので、秋分より、しかし長瀬は良かったです。

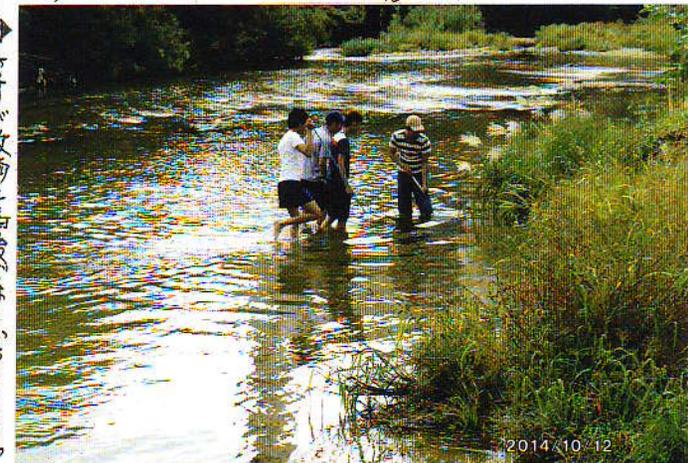
海に繋ぐ川のカ



2014/10/12

▲ 非常にきれいな川に帰りました。
水質汚染の防止や、河川環境の整備が必要です。透視度を向上させるためには、水質汚染の防止や、河川環境の整備が必要です。透視度を向上させるためには、水質汚染の防止や、河川環境の整備が必要です。透視度を向上させるためには、水質汚染の防止や、河川環境の整備が必要です。

矢田川上流



2014/10/12

▲ さすが改修工事後では魚種がいっぱい